



# 三条北ロータリークラブ週報



例会日 2011. 4. 12 累計 No.1170 当年 No.36

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:[north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org)

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会



本成寺の桜 (4/15)

国際ロータリー会長:レイ・クレンギンスミス  
地区ガバナー:東山昕也(高田RC)  
三条北RC会長:小林繁男  
三条北RC幹事:西村 護  
三条北RCSAA:岡田大介

## ■出席状況

- ・本日の出席:69名中44名
- ・先々週の出席率:69名中54名  
78. 26% (前年同期70. 01%)

## ■本日の行事:卓話

「ライラ 心の畑を耕しましょう」

## ■本日のゲスト:

2009 年国際ライラリアン  
藤田雅美様

R I 第 2560 地区第 4 分区  
アシスタントガバナー  
葦澤喜一郎様

## ■本日のビジター:

巻RCより 加藤政夫様

## ■本日のメニュー: 728kcal

ウィンナーとキャベツのスープ	85
シーフードのサラダ	40
コンドンブルー	338
ライス	168
栗と丸十のカスタード	97



\*ライラリアン=ライラ研修生

## 会長挨拶:小林繁男会長



先週の例会終了後、「義援金について」という問い合わせを皆さんにさせていただきました。皆さんからの回答を参考にし、再度、理事会で討議いたしました。

当クラブとしては100万円をガバナー事務所を通して、ガバナー会へ、100万円を三条市で受け入れて居る被災者の方々に使っていただくために三条市に贈るといことに決定させていただきました。

違うご意見も有るかと思いますが、ご協力をお願いします。

今日は葦澤AGさんがお見えです。AGとして分区内RCを4回訪問されるそうです。もう少し残っているそうですが、身体に気をつけ下さい。巻RCの加藤さんもようこそおいで頂きました。本日は、当クラブの卓話の為にわざわざ栃木から藤田さんにお越し頂きました。ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

又4/23に行います25周年記念事業「子育て講演会」にもお子さんやお知り合いもお誘ひ頂き多数のご参加をお願いします。

## 幹事報告:西村 護幹事

・石本ガバナーエレクトより 地区協議会開催のご案内  
日時 2011年5月21日(土) 9:00~  
会場 ホテルイタリヤ軒



・東山ガバナーより 「東北地方太平洋沖地震災害」に対する情報通信としてほぼ毎日届いております。

2560地区内の各RCの協力状況、支援物資受け入れ先等についてです。詳細は事務局まで

- ・中条RCより 創立50周年記念式典自粛のご案内
- ・柏崎中央RCより 創立10周年記念式典中止のご案内

## 理事会報告:臨時

開催日:平成23年4月12日(火) 11:30~12:30  
開催場所:三条ロイヤルホテル 出席数:13/14(内委任状2)  
出席者:小林繁男、星野義男、斎藤 正、西村 護、山中 正  
佐藤義英、岡田大介、石川勝行、渋谷義徳、金子太一郎  
石川友意、米山忠俊、石川一昭

協議事項:1. 大震災義援金の対応について 承認  
100万円→ガバナー事務所(ガバナー会)へ  
100万円→三条市(非難されている被災者へ)

## 挨拶：蕪澤AG



R I 第2560地区のAGとして4回目の訪問です。報告とお礼を申し上げます。9月4日（土）ワシントンホテルにて開催しました「第4分区IM」ですが、登録者数216名、出席者数197名と充実した会合が、持てましたこと皆様のご協力に感謝申し上げます。当日は11クラブの会長よりクラブの現状を厚くお話しいただき他のクラブの活動を知る機会を得、また和やかに進められた懇談会では年に一度集う分区内メンバーとの「友絆」が結ばれたことと思います。

11月4日（木）ガバナーのご希望で初めての試みとして開催いたしました「東山ガバナーを迎えての親睦交流会」市内4クラブにご協力いただき「第4分区寄せ」の企画の下楽しいひとときを過ごせましたこと誠にありがとうございました。

3月18日付けで各クラブ会長・幹事宛に「東北関東大震災被災地支援についてのお願い」を致しました。又「R I 第2560地区東北地方太平洋沖地震災害対策本部」の設置もご案内しました。東山新也ガバナー発信で「東北地方太平洋沖地震災害に対する情報通信」も発信されています。其のNo.1の最後に「各クラブにおかれましては、ご支援の対応を進められていることと存じます。何卒復興支援に、ご協力の程お願い申し上げます。」と結んで居られます。よろしくお願ひ申し上げます。

各クラブでガバナー公式訪問に合わせて作成しております「現況報告書」のクラブ定款・細則について馬場パストガバナーより貴重なご指摘を頂きましたのでお伝えいたします。

加茂RCを除いて殆どのクラブが「クラブ定款・細則」について主だったものを掲載し他は「国際ロータリー標準定款・細則と同文の為省略」又は「クラブ定款・細則抜萃」等々と略されています。その中でロータリークラブ定款15条は決して省略されるものではなく、必ず載せなければならないとのご指導を頂きました。

この度の第4回訪問に際し、各クラブにお話しいたしております。次年度会長年度の現況報告書作成に当たっては是非ご記載をお願い致します。

### ※第15条 綱領の受諾と定款・細則の遵守

会員は、入会金と会費を支払うことによって、綱領の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする。そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、定款・細則の印刷物を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

## 委員会報告：社会奉仕

4/23社会奉仕事業「子育て講演会」が来週となりました。まだ入場整理券が若干残っております。ご家族、従業員、お知り合いをお誘いいただき是非参加をお願いします。また終了後ここで「反省慰労会」を行います。出欠表を回しますのご記入下さい。

当日は26日の例会と振替となりますので「反省慰労会」のみの参加も例会出席となりますのでよろしくお願いします。



■ロータリー財団BOX：12日現在累計266,000円

■米山奨学BOX：12日現在累計386,000円

今井 克義君 大野先輩の笑顔に。



■ニコニコBOX：12日現在累計860,200円

蕪澤喜一郎君（第4分区AG）こんにちはAGとして4回目の訪問です。約1年間、諸々ご協力戴きありがとうございました。貴クラブの益々のご隆盛と会員各位のご繁栄をご記念申し上げます。

加藤政夫君（巻RC）1月11日の第一例会で私の卓話をお聞きいただきありがとうございました。後日、小林会長、西村幹事、米山委員長様から心温まる礼状を頂きました。ありがとうございました。また皆様に私からお手紙を差し上げました。お時間をお作りになって16日、17日三条商工会議所1Fでお待ちしておりますからお

顔を見せていただければ大変有り難いです。お待ちしております。

小林 繁男君 藤田雅美さん今日は卓話よろしくお願ひいたします。第4分区蕪澤AGようこそお出で下さいました。ありがとうございます。

西村 護君 同上

早川 瀧雄君 巻クラブの加藤さん、ようこそお出で下さいました。展示会、寄せてもらいます。

星野 義男君 藤田雅美さまの卓話に感謝して!!

大野 新吉君 春眠暁をおぼえず・・・待ちに待った春が漸く訪れました!!我が家の庭の雑草、例会前にむしってきました。其の最中にあのいや～な警報音、地震発生のお告げ思わず地べたにはいずりかっこう。本当に地震は怖いですね!!

米山キクエ君 藤田さんお待ちしております。今日はよろしくお願ひいたします。

外山 裕一君 藤田さん、本日はありがとうございます。

大橋 政雄君 BOXに協力

佐藤 文夫君 //

馬場直次郎君 //

高橋 彰雄君 //

笹原 壯玄君 期せずして久しぶりにコメント賞を頂き、ありがとうございます。本当に東北関東大震災の被災者の心情は計り知れないものですね。

今井 克義君 BOXのご協力に感謝です。



**\* 3月のコメント賞は笹原壯玄会員です。**



**本日の行事：卓話 2007-08年ロータリー国際親善使節奨学生**

**2010年国際ライラカウンセラー 藤田 雅美 様**

講師紹介：

2007年 お茶の水女子大学文教育学部比較歴史学コース卒業  
 2007年～08年 イギリス、セント・アンドリュース大学にロータリー親善使節奨学生として留学、環境歴史を学ぶ。留学中、世界最大の環境保護団体の一つ、ナショナル・トラストやRSPB（王立野鳥保護の会）などでボランティアを経験、外来種の伐採や鳥が住む湿地帯の水質調査、葦の成育状況の調査などを行う。

また、イギリスの小・中学校で研修生としてインターンを経験

- 2009年 6月 国際ライラ（イギリス バーミンガム）に栃木県から初めて参加
- 2010年 6月 国際ライラ（カナダ モントリオール）にカウンセラーとして参加
- 2010年 9月 第2560地区ライラでプログラムアドバイザーとして参加
- 11月 第2550地区（栃木県）ライラでプログラム作成しメインインストラクターとして参加
- 2011年10月 第2840地区（群馬県）ライラでプログラムアドバイザーカウンセラーとして参加予定

現在、栃木県佐野市で高校生、大学受験生、大学生に英語と数学を教えながら環境教育の実践・研究を行っている。

**「ライラ 心の畑を耕しましょう」**

ロータリーの活動の一つ、「ライラ」は、畑の土を耕すような大切な役割を持っています。今日は日本を襲った恐ろしい災害、多くの方々の命や生活を奪った大地震と、その中でささやかですがライラの精神が生かされ、あたたかいライラの灯がともったことを含めて、皆様にライラの持つ意味をお伝えしたいと思います。

3月11日の地震以後、生活の様々なことが変化し、学生たちの生活にも非常事態は大きく影響しました。それまで、毎日学校や部活や宿題や課外でやることに追われていた学生たちが、突然やることを失いました。毎日何もすることが「ない」のです。私はこのままではいけない、ライラの精神を生かさなければと思いました。そこで、20キロ離れたところに住む学生たちに、

自転車で教室まで来るようにと呼びかけました。すると、子供たちはそれに見事に応えてくれたのです。また停電中、ろうそくの光で授業を行い、原発、地震について話し合いました。生徒たちは、意思を持って動く、困難に向き合う姿勢を学びました。

この出来事を世界の友人に向けて発信し、生徒たちへ励ましのメールをお願いしました。すると、毎日のように10通、20通とメールは増えてゆきました。今でも続いており、すでに150通のメールが届いています。

中でも、第二次世界大戦中、収容所で過ごした女の方から、困難と戦うのは強い心であると説いてくださった長いメール。そしてアメリカの経済学者から頂いた **resilience** という言葉―「打ちのめされ、心が砕けるような過酷な状況におかれながら、常に平常心を保ち、揺らぐことのない心の力」「重い病気になろうとも、全ての望みが消えようとも、運命に押しつぶされようとも、必ず立ち上がるしなやかな強い心」―これは子供たちの一生の宝であると思います。さらにルーマニアのロータクトクラブから頂いたメールも驚きで、「放射能汚染をさけられるよう、学校と宿舎を用意したので、子供たちを学校ごとしばらくルーマニアに移住させなさい」というのです。

中東やエジプトでは戦乱が続き、日本は放射能汚染にさらされている中、このようなあたたかい善意が世界中の人々の心をつなぐ結びつけ、苦しむ人々を励ましています。これこそ、ロータリーの、そしてライラの中心となる理想の実現なのだ、私はメールを開くたびに涙がこぼれています。

このように、社会には環境や平和のように、壊れやすく、人々の思いをつなぐことでしか護れないものがあります。ライラのプログラムはこの思いを若い参加者たちに伝えてゆきます。社会という土壌を耕しているのです。

チームとして仕事をする場合、良い結果が出せる、高いハードルが越せる、そのためにはチームが強いエネルギーを出すことが必要です。チームの一人一人が全力で考え、意見を出し合い、ぶつかり合うときに、このエネルギーが生まれます。ライラでは、いろいろなプログラムを通して、チームのより良いメンバーとなれるようトレーニングをします。

それは責任を持って考え、積極的に提案をすること、他のメンバーの話をきけること、チームとしての決断に貢献できることです。家庭、地域、会社など、チームのより良いメンバーが育ててゆくことで、社会のたくさんの場が生き生きとし、エネルギーを生み、強く健康的なものになります。若い人たちが、自分が社会の一員だという気持ちを持って、その土台として、一人一人の重要さを発見してくれる「気づきの場」がライラのプログラムです。

私をはじめ国際ライラに参加したとき、心から驚き、感動し、目が覚めるような思いでした。リーダーを育成する、育てるという言葉が具体的に何をすることなのかを体験したのです。集まる人の文化も言語も違う、それでも責任を恐れず自分の意見を述べ、行動するというのは、大変難しいことです。国際ライラでは、30カ国以上の120人が集い、様々な場を設定して、判断し、行動する力を養うプログラムが実行されました。具体的なプログラムとなって、とるべき行動を示される、そんな経験は初めてでした。

日本でこのようなライラをやってみたい、と欲していた去年の11月、栃木県ライラのメイン・インストラクターに指名され、国際ライラのプログラムを日本で実践するチャンスを頂きました。対象は栃木県に住む若者たちです。職業は様々で、最初は何のために来たのかわからない、という人がほとんどでした。でも、はじめのセッションが始まったとたんに、活動に夢中になり、チームメンバーに自分の意見を伝え、全員が協力して意見をまとめ始めました。そして、3日間を終え、これから会社や地域といった自分の場で、この経験を生かしていきたい、という感想をもってくれた参加者が大勢いました。

ライラそのものは終わりましたが、それは本当は「始まり」である、ということも多く参加者が理解してくれました。参加者の一人佐々木くんは、このライラ研修に参加して自分の考え方が全く変わったと言います。それまでもっていた考え、「自分一人だけよければいい」というのは間違いだと。そして、「心の中に、誰もがリーダーシップや積極性の種を持っている。」ライラを通して「芽を出した種に、少しずつ水をやり、土をやり、日の光を当てることが今後の目標」だと書いてくれました。全員がこのように、各々の場で種となり、やがて枝をはる木となるスタートがライラなのです。

ロータリーの皆様と参加者の皆さんのおかげで、ほんの少しですが畑の土を耕す仕事ができ、とても幸せでした。ありがとうございました。

藤田さんより「テーブル毎に紙だけを使って出来るだけ高く作ってください」の問題に・・・



一番高く出来上がり



## 三条北ロータリークラブ会員企業紹介

「ロータリーの会員は、その一人ひとりが、自分の職業とロータリーの理想とを結び環である(ポール・ハリス)」

会員同士が会員企業の職業分類を知ることにより、会員の親睦、相互扶助、職業奉仕にこの「企業紹介コーナー」がお役に立つことができれば幸いです。



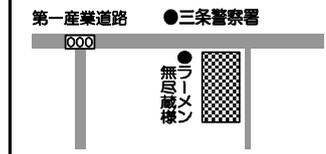
by 会報・広報・資料委員会

### ■会員事業所紹介 ●山中 正会員 (ロータリー情報)



■事業所名	株式会社しきしま
■職種分類	葬祭式場
■住所	〒955-0064 三条市横町2-3-4
■TEL.	0256-34-5662
■FAX.	0256-35-6075

#### アクセスマップ



#### 👏 こんな仕事をしています

- 葬儀社(葬祭会館)を業としています
- 法人名は「株式会社しきしま」葬儀会館名は「しきしま会館」です。関連する会社に「有限会社はな工房」(生花部門)「有限会社セレバード」(仏事ギフト・仏壇・墓石販売部門)があり、「株式会社しきしま」と「しきしま会館」の業務をサポートしています。
- ★ロータリークラブの会員の皆様とは、仕事でご縁がないことを願っております。会員の皆様そしてご家族、ご親族…何時までもお元気で永遠に生きてください。

#### 本社



#### 🚩 我が社のPRポイント

- 安価・良質サービスと無理・無駄のない葬儀を提供
- ・全国3000社ほどの葬儀専門会社がありますが「安価・良質サービス」では我が社は全国2番目かと思えます。(山中の調査によると)
- ・ロータリー会員の皆様は経済的に豊かですが、一般の消費者の方々の中で「葬儀料金」が払えない方が増えています。そんな方々の為に葬儀セット価格10万円(無理無駄を省き、心のこもったお葬式)を提供しております。

#### 会館祭壇例



### ■会員事業所紹介 ●高森武志会員 (クラブ会報・雑誌・広報・資料)



■事業所名	高森コーキ株式会社
■職種分類	総合卸売、給油所貯油施設設計施工
■住所	〒955-0852 三条市南四日町4-8-18
■TEL.	0256-32-4041
■FAX.	0256-34-7502

#### アクセスマップ



#### 👏 こんな仕事をしています

「特殊クリーナー・木部補修材などの製造部門」「卸、量販店、専門業者への販売部門」「給油・貯油施設等の設計、施工、メンテナンス部門」「住まいの困りごとを丸ごと引き受ける、ハウスクリニック部門」「人生の最期を心こめてサポートするセレモニー部門」「秤と温度計の専門サイト(はかりん坊將軍)を運営するeマーケティング部門」、独創と複合の経営で地域社会に貢献しています。

#### テーマタワーと本成寺スタジオ



#### 🚩 我が社のPRポイント

ハデ派手カラーの社屋が自慢です(ハ-A)/

我社の社屋(4ヶ所)は何れも「おやっ！」と思うような配色になっています(笑)。これは7.13水害の直撃を受けた傷跡を微塵も残したくないという気持ちの表れでした。水害のリフォーム直後は社員も恥ずかしがって通勤したがりませんでした(爆笑)。でも今では水害復興のシンボルカラーとして自慢の建物になっています。(「社長(私)のセンスが悪い!という指摘もありましたが……苦笑)

#### ハデ派手カラーが自慢!

